

【巻頭特集】

# 能代 宇宙 イベント

ちょっと  
見に行かない？

8/14(木)▶22(金) 一般公開 8/17(日)

能代宇宙広場（旧浅内第3鉱さい堆積場）

平成17年に始まり、能代の夏の恒例イベントとなった「能代宇宙イベント」。学生と社会人が、ロケット打ち上げと自律ロボット制御に取り組む日本最大規模のアマチュア大会です。大学生によるハイブリッドロケットの打ち上げのほか、小学生以下が対象の水ロ

ケット大会、中学生モデルロケット大会、高校生のロケット甲子園などが行われます。

「学生ロケットの聖地」と称される能代に、本気で宇宙を目指す若者たちが今年もやって来ます。一般公開日は、ぜひ会場に足を運び、学生たちの勇姿と一緒に応援しませんか。

## 能代とロケットの歴史をちょっと勉強

宇宙航空研究開発機構(JAXA)の附属研究施設が能代にあることを知っていますか。固体ロケットモーターの燃焼試験などを行っている、能代ロケット実験場です。

昭和37年に開設。それまでは、ロケット開発の父と呼ばれる糸川英夫先生が中心となり、道川海岸（現・由利本荘市）でロケットの実験が行われていました。新たな実験場を探しているときに候補に挙がったのがこの能代です。糸川先生とつながりのあった西村節朗元能代市長が、周囲に住家がなく海岸に近いことから提案。地元の漁協の協力もあり、この地で実験が行われることになったのです。

子ども館 館長  
千羽正人 さん



## イベントの魅力を 実行委員長

に聞きました！



能代宇宙イベント実行委員会

委員長 川端 洋さん

東海大学工学部 航空宇宙学科 特任講師

秋田大学1年生から能代宇宙イベントに参加。大学院修了後も、イベントに関わり後輩たちをサポートし、今年からイベント実行委員長に就任。「学生として参加してきたイベントの実行委員長になりプレッシャーもあるが、安全に実験できるよう十分注意していきます」。

**学生にとって  
どんなイベントですか？**  
ロケットや缶サットを研究する学生たちにとって一年の集大成となるのが、この能代宇宙イベントです。「能代に向けて」という気持ちで製作を行い、その成果をお披露目します。私は、秋田大学の学生時代に初めて参加した第4回大会以降、携わってきました。全国各地の大学生が、数百人規模で集まる貴重な機会。他大学の学生たちと交流できることが大きな魅力です。ここで出会い、今でも

連絡を取り合っている仲間がたくさんいます。  
**イベントの特徴は？**  
単なるロケットや缶サットの実験イベントではなく、実践的な宇宙教育活動の場でもあります。学生自身で考え、臨機応変に対応できる力を育む狙いもあります。スキルも大事ですが、仲間とのコミュニケーション術、プロジェクトマネジメント力も身に付けてほしい。うまくいかないこともあると思いますが、失敗から多くのことを学んでほしいです。

**地域の方々へ  
メッセージを！**  
毎年、温かく迎えてくれる能代の皆さんに本当に感謝しています。一般公開日には、普段あまり表に出ることがないロケットや缶サットの研究開発について、学生たちが分かりやすく紹介します。子どもも大人も楽しめるコンテンツをたくさん用意しています。暑い中での開催になります。暑く感じられると思うので、ぜひ会場へ足を運んでもらえたら、うれしいです。

キッチンカーも  
来るよ！

## 一般公開 17日

- ハイブリッドロケット打上げ  
1回目：11:00～ 2回目：13:00～  
※打上げ時刻は予定となります。
- モデルロケット打上げ体験  
1回目：10:00～ 2回目：11:00～  
※事前申込不要
- 中学生モデルロケット秋田県大会  
13:00～ ※当日参加不可

- 体験型コンテンツ 9:00～16:00  
※事前申込不要  
参加団体がそれぞれの特色を生かした子ども向けの体験型コンテンツ！
- ・ 宇宙飛行士選抜試験体験
- ・ Cansat（缶サット）操作体験
- ・ フィルムロケット工作体験
- ・ 立体折り紙製作
- ・ 流れを考える実験
- ・ はんだ付け体験 など
- ※内容は変更になる場合があります。

この他にも、参加大学によるTシャツコンテストやロケット、缶サットのプレゼンなどのステージイベントがあります。

